

平成 27 年度 第 3 回学校協議会

日時 平成 28 年 2 月 5 日 (金) 15:30~17:00

○委員紹介

○座長あいさつ

○事務局自己紹介

○校長挨拶

○「進路状況 報告」 (進路指導部)

(委員 1) 就職希望者生徒の中で、就職に向けて取り組み中の者の数字は、1 期生のこの時期に学校としてはどうなのか?

(事務局①) 3 名はきまりそう。残りは今実習中で、就・と連携をとりながら進めている。

(委員 1) 在籍者数と就職希望者数に差があるのは?

就労をめざす高等支援において、この数字はどういう状況なのか? 入学の時点で、最初から難しかったのか、それとも 3 年間で変化があり、この数字なのか?

(事務局①) 就労をめざしての進路指導はしてきている。その中で保護者と連携をとりながら就労が難しい生徒については、進路変更をお願いしたり検討したりしている。

(委員 1) 入学時の数から就職を希望者が減っていることを検討されているか?

(事務局①) 本校に入学するということが、就職を希望することととらえている。

企業実習を経験し、2 年の 1 2 月に就職先の希望懇談をします。3 年の 1 1 月に未定の生徒には、もう一度希望を洗い直しての数字を出している。

(委員 1) 連携先事業や開拓、取り組みの内容など検討は?

○「学校教育自己診断の結果 報告」(教頭)

(委員 2) 長欠生徒の理由を差し支えなければ教えてほしい。2 年生、3 年生の生徒は、入学時からそうだったのか、なんらかの理由があつてそうなったのか。

(事務局②③④) 説明

(委員 1) 1 期生、2 期生、3 期生それぞれのここの志願者数に対する倍率は?

(教頭) 1 期生は約 2 倍、2 期生は 1. 9、3 期生は 2, 1 6 倍

(委員 3) 肯定的な数字が多いように思うが、基準が低いのではないか

(委員 2) 授業の評価で、生徒の評価がよくない。先生全体なのか、個人に特化した評価なのかを知りたい。それが、アンケートの中に反映されれば。

(教頭) 個人の授業アンケートとの相関関係はないと思うが、実際に評価が悪いので、学年、教科に持ち帰り検討してもらっている。個人の評価は管理職と自分がみる。

(委員 1) 教育相談について、教師と生徒に大きなズレがある。

(教頭) 本校の先生方は大変頑張っている。このズレには、相談したいができない、見えていない生徒がいるのではという検討が必要。

(事務局⑤) 昨年度も低く、職員会議でも問題とした。採用3年までの若い教員、期限付き講師、支援学校経験のない教師集団の構成で頑張ってもらっているが、まだ足りない状況。

(委員2) 高校生は不安がっているんでしょうね。本人の不安がとれないとこの数字は上がってこないですね。

(委員3) 3年になってLOWの評価が増えている。1, 2年と3年の間に何かがあるのか。

(事務局⑤) 3年生は1期生ということもあり、1年目は全体をかけて見てきた経緯がある。2年、3年と上がっていくうちに、担任団が解体し、他学年に教師が行ってしまったり、新しい教師がきて一からの関係づくりになったりしてきた中での評価とも考えられる。

○「平成28年度学校経営計画について(案)」(校長)

(委員2) 交流のことだけでなく、共同学習についても、計画、立案したほうがいい。

(委員1) 中期的目標3の(3)企業定着率は、企業就労定着率としたほうがいい。

中期的目標2の(3)「とりかい版」キャリアプランニングマトリクスのマトリクスとは、何か特別なものを考えているのか

(校長) 縦軸、横軸がクロスする(マトリクス)→縦軸(発達段階)横軸(内容)出されているのを鑑みてみて、本校に適応する形でつくっていく。

○本日のまとめ

(委員1) 今日でたような意見を学校運営ということを見据えて展開できるように、ここに参加されているリーダー的存在の教師が他の先生方にも広めて、活用していただければと思う。